

ガーナでお絵描き
くれよん プロジェクト 51号

これまでにも何度かお伝えしている子どもたちの絵を描く時の色使い。これらを見ると、色使いの正解というのは全くなく、またこの色を使ったから心や家庭に問題があるとか、そうしたことは本当に関係ないのだな・・・と感じます。今回、中学1年生の授業で“私とあなた”という題材で自分と隣の席の子を描きました。



どのクラスにもその学年相応の年齢ではなく過齡児がいます。このクラスにも中学一年の年齢よりもはるかに超えた年齢の生徒が数人在籍します。これまでもあったことなのですが、そうした過齡児は工作には参加するけれど、お絵かきの授業は何故か“今日は病気だ”と言い机に顔を伏せ参加

しません。しかし決まって描きあがった友だちの作品には茶々を入れたりするのは、病気だと言われてしまえば、それ以上理由を尋ねたりはしないけれど、こうした態度について腹を立ててしまいます。過齡児についてはまた別の時にお話する機会があればしたいかと思えます。今回は、子どもたちの描く絵を見て“色遣いに正解はないと感じた”その絵を幾つかご紹介していきたいと思います。好きな色を使って描くのが一番なのかなと感じられる微笑ましい絵です。



国旗が描かれるのもガーナの子ならではの。



報告日 2016年10月31日 TOSHIKO



協賛 ペンてる株式会社様(すこくクレヨン)